様式１

「みんなで調べる宍道湖流入河川調査」報告書

学　校　名 （団体名） 連　絡　先	雲南市立佐世小学校 Tel: ０８５４－４３－２８１６　　Fax: ０８５４－４３－９０６３ E-Mail: sase-sho@city.unnan.shimane.jp
調査参加者	参 加 者：　４年生　１５名 指導者名：　４年担任　古川　千穂子

「川のひみつ」というテーマで，１学期から社会の上下水道や水の循環の学習、総合的な学習の時間において水や川について学習を行った。子どもたちは，小学校のすぐ近くを流れている佐世川に幼い頃から親しんでおり，特にそこで見られる生き物に深い関心をもっていた。そこで、「佐世川にすんでいる生き物をさがしてみよう。」というテーマから学習をスタートし、佐世川でつかまえた生き物についていろいろ調べる中から、水質・環境という点に関心を広げ、さらに佐世川について深く調べていきたいという思いをもつことができた。また、社会科の「水はどこから」の学習において、上下水道施設を見学に行き、水の循環等について学習する中でも、川の水質や環境について考えることができた。生き物調べからスタートし、いろいろな視点をもって学習を進めることができ，より一層地域の川に関心をもち，愛着をもつことができたのではないかと考える。１学期から行った学習は以下のとおりである。

① 佐世川の水質調査　『みんなで調べる宍道湖流入河川調査」に参加し，佐世川の水質調査を実施。

② 佐世川の生き物調査　佐世交流センター付近のかわこ広場において，生き物採取を行い、飼育・観察を行った。

③佐世川源流探検　佐世川の上流からから赤川，斐伊川に合流する地点までをたどり，川幅や水深，水量，水温，周りの様子などを観察した。

③ 地域の人から話を聞く　地域コーディネーターから、佐世川のかわこ広場への地域の方の思いや佐世に伝わるかっぱの話についての話を聞いた。

④ 調べ学習　子どもたちの興味，関心によりテーマをしぼり，図書資料、インターネット等で調べ学習を行った。

〈子どもたちが調べたグループテーマ〉

・佐世川の生き物について
・佐世川の上流・中流・下流の流れや周りの様子のちがい
・水質調査のやり方や水質調査結果から考えたこと

⑥尾原ダム見学　尾原ダムの見学を通して、ダムが川を利用した暮らしや川の生き物を守っていることを学習した。

⑦地域の人と一緒にクリーン大作戦
毎年、全校で地域の方と共に、佐世川周辺を含めた学校の周りの清掃活動を行っている。

⑧学習発表会での発表　１１月の地域行事「げんき祭」とタイアップして行われる学習発表会において、「川のひみつ」と題し、学習内容を劇化し、地域の方や保護者に向けて，佐世川調査でわかったことや，見学をして知ったことをまとめ発表した。「水はどこから」や谷に囲まれた大地に苦労して水を引いた先人たちの努力など、社会科で学習したことも交えながら、現在の川のあるくらしの豊かさや佐世川での活動の様子を伝えた。初めは佐世川の水はきれいだと思うと予想を立てている児童が多かったが、４回のＣＯＤパックテストや透視度計を用いた調査をする中で，思ったよりも濁っていたことがわかり、天候の具

合や道具の使い方などでも水質がかわっていったのではないかと考えた。しかし、生き物調べをする中で、きれいな水に生息する生き物も多く見られ、児童はとてもうれしく感じていた。また美しい佐世川を大切にしていきたい，守りたいという思いを強くし，これからの自分たちにできることについて考え、発表した。

〈子どもたちの感想〉

・下流に行くにしたがって、川の幅が大きくなっていることがわかった。佐世川が赤川に合流し、赤川は斐伊川に合流していったので、川は集まっていくことがわかった。佐世川探検で、水に触ってみたら、上流の水が一番冷たかった。

・上流は、川幅がせまく、みぞのような感じだった。コンクリートなどで固められていなくて、自然のままの川という感じだった、その川から、用水路に水が流れていて田んぼに使われていた。田んぼには川の水が必要だとわかった。

・かわこ広場で生き物さがしをした。サワガニやカワムツの稚魚がいた。とった場所は、流れの遅いところだった。今日の水は、前と比べると流れが速く冷たかったです。透明度は、横から見ると透明に見えても、上から見ると水が濁っていたので、昨日の天気と関係しているのかなと思った。サワガニは水がきれいなところにすむ生き物なので、ＣＯＤが高くても佐世川の水はきれいなんだと思った。

・佐世川探検で、川の周りが自然のままのところもあったし、コンクリートでつくられたところもありました。また、砂防ダムといって、下流に砂が流れないようにしてあるダムがありました。尾原ダムの見学に行ったときに、斐伊川は天井川なので、何回も洪水が起こったという話を思い出しました。佐世川にも川底に砂がたまらない工夫があるんだなと思いました。

様式１（続き）

みんなで調べる宍道湖流入河川調査　調査結果表

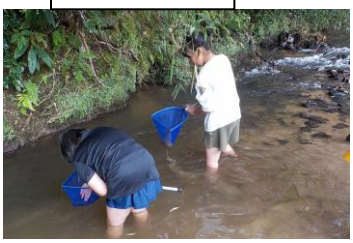
学校名：　雲南市立佐世小学校

川の名前	佐世川
調査地点名	交流センター付近（かわこ広場）

	１回目	2回目	3回目	4回目	5回目
調査日時	6月5日	7月8日	9月5日	１０月7日	
天候（当日）	晴れ	晴れ	くもり	晴れ	
天候（前日）	晴れ	くもり	雨	晴れ	
気温（℃）	２８	２８	３０	２６	
水温（℃）	１９	２９	２６	２３	
ＣＯＤ（mg/l）	６	４	８	６	
透視度（cm）	７５	１００	４２	６８	
全窒素（mg/l）					
全りん（mg/l）					
気づいたこと	水の見た目は透き通っているように見えたが、意外にCOD は高かった。透視度を測る前に水に入ってしまった人がいたからかもしれないと思った。	今回は、測るまえに誰も水の中に入らないように気を付けて測定した。だから透視度の数値は高かった。COD も数値が低かった。	水の流れがあまりない川の端のほうで、魚をとることができた。サワガニは、浅くて川底に石があるあたりで見つけることができた。ＣＯＤは高かったが、きれいな水に生息するサワガニがいた。	前日も晴れていたせいか、測定した中でCOD は前より一番低かった。前回と比べて、深かったところが浅くなっていた。流れが速くなっているように感じた。	

活動の様子

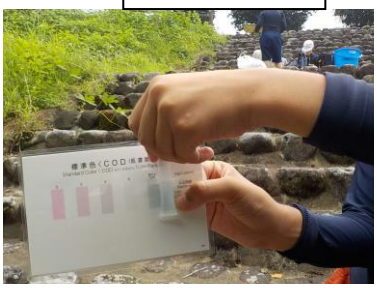
生き物探し



見つけた川むつの稚魚

透視度の測定

COD の測定



佐　世　川　探　検

これが源流？

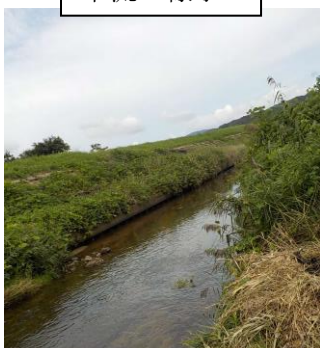
源流から 1400m 付近の調査

コンクリートでジグザグに段差ができている上流付近（魚が通れるように、また、下流に砂がながれないように）

中流付近での測定

砂防ダム

下流の様子



尾原ダム見学

地域の人と一緒に佐世地内を掃除するクリーン大作戦

斐伊川と赤川の合流付近